

Sojiro

宗次郎

オカリナコンサート

— 飛駒の空から —

4月

20日(日)



真の昼間、
飛駒の空を
高笑いをしながら
通り過ぎるカラス。
真夜中、
森の中から
悲しい声を響かせる
トラツグミ。
カラスに
嫉妬し
トラツグミの声に
安堵し……。

出演

宗次郎(オカリナ)
蓮沼 健介(ピアノ) 今井 博子(ヴァイオリン)
齋藤 静(チェロ) 小林 健作(ギター) 丹菊 正和(パーカッション)

ネオ・クレイトーン・アンサンブル
足利土笛の会
高谷オカリナの里

〈日時〉 2014年4月20日(日) 午後4時30分開場/5時開演
〈会場〉 佐野市文化会館 ☎0283-24-7211
〈料金〉 前売り4,400円(税込) 当日4,800円(税込)

主催/渡良瀬通信
後援/佐野市、佐野市教育委員会
協力/YC「Wa-Y 協力会」
企画/有限会社 みにむ
制作/有限会社 風音工房

問い合わせ ☎0284-72-6867 (渡良瀬通信)

〈前売券取扱所〉

[佐野]・佐野市文化会館 0283-24-7211・宮脇書店 0283-24-9007・オンダ楽器ハーモニープラザ 0283-23-0682・佐野市葛生あくとプラザ 0283-86-4715・道の駅どまんなかたぬま 0283-61-0077
[館林]・しまや 0276-72-1385 [足利]・足利市民会館 0284-41-2121・足利市民プラザ 0284-72-8511・渡良瀬通信編集室 0284-72-6867

Sojiro

宗次郎

オカリナコンサート
— 飛駒の空から —

4月

20日(日)

ごあいさつ

2014年は宗次郎が飛駒の火山久先生のもとに弟子入りして40年目になります。宗次郎のオカリナはここからスタートしました。そのきっかけをつくってくれたのが、先に弟子入りしていた谷カさんでした。その谷さんが亡くなって、ちょうど10年目でもあります。

今回のコンサート「飛駒の空から」は、そんな節目に、「飛駒」や「火山久先生」そして「谷カさん」を想いかべながらのコンサートにしようと思います。(宗次郎談)

今回の公演は

通常のフルメンバーによるコンサートに加え、火山先生に直接指導を受けていたオカリナグループ「足利土笛の会」「ネオ・クレイトーン・アンサンブル」と谷さんが指導していた「高谷オカリナの里」にも登場していただき、宗次郎とともに数曲を演奏いたします。

宗次郎プロフィール



profile

1954年館林生まれ。

1975年、田沼町飛駒の火山久先生の工房で、初めて聴くオカリナの音色・響きに魅せられる。この年から、火山先生の工房で本格的にオカリナ作りを始める。1985年までの10年間に制作した数は1万個を越えている。その中から選りすぐった10数個のオカリナを現在も使用している。

1985年にレコードデビューし、1986年のNHK特集「大黄河」の音楽で一躍脚光を浴び、オカリナアーティストとしての地位を得る。その後、定期的にオリジナル・アルバムをリリースし、アルバム発売に合わせて全国各地でコンサートツアーを実施。1993年には、アルバム『木道』(キドウ)『風人』(フウト)『水心』(スイシン)の自然3部作で、第35回日本レコード大賞<企画賞>を受賞。

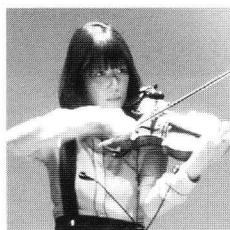
2008年8月、オカリナの普及やファンとの交流の場として茨城県常陸大宮市の自宅近くに「Sojiroオカリナの森」を建設。

2013年5月、「オカリナの森から」のオリジナルアルバム第2弾『オカリナの森からII』を発表。常に自然との関わりの中で土とのふれ合いを大切にし、コンサート、作曲、創作活動を続けている。

出演者



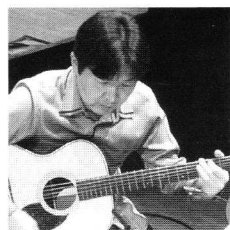
蓮沼 健介(ピアノ)



今井 博子(ヴァイオリン)



斎藤 静(チェロ)



小林 健作(ギター)



丹菊 正和(パーカッション)